

わが社の Our company

新工場

金田自動車

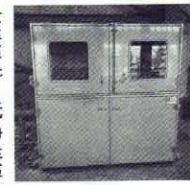
トラック整備工場を新設し、サービスを拡大



5月から稼働している新工場

車解体などを手掛ける金田自動車（本社・旭川市）は、5月から「トラック整備工場札幌店」（江別市角山426-14）で新工場を稼働

トラック販売や整備、廃車解体などを手掛ける金田自動車（本社・旭川市）は、



札幌圏で初導入のエキゾーストストリーム

新工場は既存の工場の隣に位置し、同社の「B.P.架装工場」（旭川市）と同様のフレーム修正機を導入。トラックのゆがみやねじれなどを修正する。トラック・建機用の塗装ブースも備えており、全塗装や事故車両、古い車両のリフレッシュも可能だ。

また、札幌圏の整備工場では初となる最新のDPF（ディーゼル排気微粒子除去）

装置（去装置）洗浄装置「エキゾーストリーム」を導入。排ガス装置の洗浄により、燃費効率の向上や故障防止に寄与する。

7月26～27日には、工場の一般公開を兼ねたイベント「トラックフェス」を開催。多くの来場者を集めた。

9月25日には、札幌市中央区の老人福祉センターで無料の終活セミナーも開催予定しており、参加を呼びかけてい

が贈られた。北海道キリンビバレッジ岡本社長は「飲料を通じて次世代を担う子どもたちの育成支援や、道民のみなさまの健康支援を行い地域に貢献できれば」と話した。



函館港小学校で行われたベルマーク寄贈式



ゆでたてのシャウエッセンを無料で配布した

北海道武蔵女子大学と北海道武蔵女子短期大学は、7月8日、9日の2日間にわたりキャンバスで「朝食促進プロジェクト」を実施した。

課題やアルバイトなどで忙しい若い世代に向けて、朝食をとる習慣を促す取り組みが3600本提供された。

学生有志が呼びかけや運営を担当したことも特徴で、SNSを使ったPRも行つた。

同大学広報は「今後も学生の生活習慣改善をサポートしていきたい。また学生の成長と地域活性化も目指しております」と語った。

「不動産や相続に関する法律業務が、私たちの暮らしや事業に大きく関わると実感しました。この頃から、本格的に法律関係の仕事で独立したいと思いました」と一念発起して、24年に司法書士と行政書士の資格を取得した。

123ページ

■4五銀打 □5五玉 ■7三角成 □同金
詰め将棋の答え ■6七桂 □6四玉 ■6五銀打

業版ふるさと納税を活用し、札幌市に200万円を寄付。
7月4日に秋元克広札幌市長

望月雅博社長（左）
秋元克広札幌市長（右）

同日には、函館市立港小学校で贈呈式も行われ、函館市立港小学校から2社へ感謝状

表の念願だつた独立が形となつた士業事務所だ。
生まれは三重県で、岐阜市の短期大学を卒業後に地場大